



区長コラム ずっと もっと めぐろ

目黒区長 青木英二

皆さん、こんにちは。区長の青木英二です。

今回の区報は、「目黒区制90周年」記念特集号です。昭和7年10月1日に誕生した目黒区は、このたび90周年を迎えることができました。区は現在、昨年策定した基本構想で掲げた「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐろ」というまちの将来像の実現に向けて、職員一同、日々業務に取り組んでいます。私としましては、今後100周年を迎えるとき、目黒のまちがどのように発展し、基本構想の理念がどこまで実現しているのか、今からとても楽しみにしています。

今回の区報では、皆さんからお寄せいただいた「わがまち目黒の好きな場所、こと、もの」をご紹介します。ちなみに、私の「好きな場所、こと、もの」は挙げればキリがないのですが、もう50年以上も前、碑文谷警察主催の防犯少年野球大会が開催されていた碑文谷の野球場(当時は「勧銀グラウンド」と呼んでいました)は、とても思い出深い場所です。今でも近くを通ると懐かしくなり、あの頃のチームメンバーとの交友は今も続いています。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染状況ですが、世界の死者数が、流行初期の約2年半前の水準まで低下してきました。海外か

らは、「パンデミック(世界的大流行)の終わり」が見えつつあるようなニュースも届くようになってきました。とはいえ、WHO(世界保健機関)などは、各国が従来の取り組みを継続していくことの必要性についても言及しています。日本もこれから秋・冬を迎えることになり、第8波やインフルエンザとの同時流行に備えていかなければなりません。区としましては、ワクチンの接種を引き続き着実に進めてまいりますので、ぜひ記事をご覧ください、接種をご検討いただきたいと思います。接種が進展することによって、第8波の回避や、私たちの生活のいち早い正常化につながっていくものと考えています。

そして、10月9日はいよいよ、3年ぶりの目黒区民まつりです。プログラムや会場など詳しい情報は、9月15日号の区報やホームページなどでご確認いただければと思いますが、さんま祭やおまつり広場、ふるさと物産展など、私も今から待ち遠しくて仕方ありません。落ち着きを見せてきたとはいえ、いまだコロナ禍が続く中で開催ということで、準備を進めてきた実行委員会の皆さんや気仙沼市からのボランティアの皆さんに敬意を表したいと思います。当日は、万全の感染症対策を施して臨みますので、ご来場される皆さんには存分にお楽しみいただきたいと思います。

めぐろパーシモンホール 情報

加藤訓子プロデュース～スティーヴ・ライヒプロジェクト

①小ホール公演

加藤訓子ソロ・パフォーマンス～スティーヴ・ライヒ「フェイス/ドラミング」

時10月21日(金)①15:00開演(14:30開場)②19:00開演(18:30開場)

場めぐろパーシモンホール小ホール

曲目 ピアノ・フェイスほか

¥全席自由3,500円(大ホール公演いずれかとのセット割で3,000円)。発売中



加藤訓子 ©Michiyuki Ohba

②大ホール公演

時①12月10日(土)②12月11日(日)16:00開演(15:30開場)

場めぐろパーシモンホール大ホール

曲目 ①シックス・マリンバ・カウンターポイントほか②ドラミングほか
出演 加藤訓子(パーカッション)、inc.percussionists2022(パーカッションアンサンブル)ほか

¥全席指定一般3,000円(高校・大学生1,000円、小・中学生500円。大ホール2日セット券5,500円(小ホール公演のセット割と併用不可))。発売中

①～④全て未就学児入場不可

③フジタが目黒にやって来た展

～ミュージアム・コンサート「パリを歩く、アベク・フジタ」

時11月6日(日)①13:00開演(12:30開場)②15:00開演(14:30開場)

場目黒区美術館(目黒2-4-36 区民センター内)

出演 村田正樹(タップダンサー)、白石美徳(ドラム)ほか

¥全席自由1,500円。チケット提示で当日の展覧会観覧可。発売中

④桂文枝・春風亭小朝～新春東西落語名人会

時5年1月13日(金)13:30開演(12:45開場)

場めぐろパーシモンホール大ホール

¥全席指定S席3,700円、A席3,200円。10月19日から発売(窓口は10月20日から)



桂文枝



春風亭小朝

①～④のチケット取り扱い

①チケット専用電話☎5701-2904(10:00～19:00)

②チケットセンター窓口(10:00～19:00)

③めぐろパーシモンホールHP(コード①)

めぐろパーシモンホール 八雲1-1-1 区民キャンパス内

問めぐろパーシモンホール事業課(☎5701-2913、☎5701-2968)



①

コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た ～作品収集のあゆみ



藤田嗣治(動物群)1924年、油彩・キャンパス、目黒区美術館蔵
©Fondation Fujita/ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo.2022E4803

目黒区美術館では、国際的に活躍した日本人作家、目黒にゆかりある作家・作品などに焦点を当て、コレクションを築いてきました。最初の収蔵作品となった藤田嗣治(動物群)を皮切りに、これまで約2,400点を収蔵しています。

本展では、開館前から現在までのコレクション形成のあゆみを振り返りながら、作品収集の過程や取得時のエピソードなど、美術館の舞台裏をご紹介します。

問場目黒区美術館(目黒2-4-36 区民センター内、☎3714-1201、☎3715-9328)

時10月8日(土)～11月20日(日)10:00～18:00(入館は17:30まで。月曜日は休館。ただし10月10日(祝)は開館、翌日休館)

¥一般700(550)円、高校生・大学生・65歳以上550(400)円、小・中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金。障害のあるかたと付添者1人は無料

〈区民割引〉

区内在住・在勤・在学が分かるものを提示で、団体料金で入場可(他の割引と併用不可)。

11月15日(火)は開館35周年記念日のため、区内在住、在勤、在学者は無料